

令和4年度横浜みどり税の使い道について

(単位：千円)

事業名	4年度決算における横浜みどり税充当額
市民とともに次世代につなぐ森を育む	1,729,918
1. 樹林地の確実な保全の推進	1,181,643
(1) 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り	1,181,643
2. 良好な森を育成する取組の推進	534,210
(2) 良好な森の育成	519,572
(3) 森を育む人材の育成	14,638
3. 森と市民とをつなげる取組の推進	14,065
(4) 市民が森に関わるきっかけづくり	14,065
市民が身近に農を感じる場をつくる	102,312
1. 農に親しむ取組の推進	102,312
(1) 良好な農景観の保全	59,171
(2) 農とふれあう場づくり	43,141
市民が実感できる緑や花をつくる	941,712
1. 市民が実感できる緑をつくり、育む取組の推進	564,641
(1) まちなかでの緑の創出・育成	564,641
2. 緑や花に親しむ取組の推進	377,071
(2) 市民や企業と連携した緑のまちづくり	54,455
(3) 子どもを育む空間での緑の創出・育成	5,276
(4) 緑や花による魅力・賑わいの創出・育成	317,340
横浜みどり税充当額計	2,773,942

森づくりボランティアの登録者や森づくり活動に取り組む団体を対象にした講習会・研修・講座や、森づくりボランティアが個人で森づくりを体験する「森づくり体験会」等を開催



市内5か所にあるウェルカムセンターで、森の情報発信や、森を知り、楽しむための講座等を開催



収穫体験ができるナシ、ブドウなどの果樹園の整備を支援



「緑や花でいっぱいの街をつくりたい」という地域の皆様から緑化計画の提案を募集し、その地域にふさわしい緑を創出する取組を支援



校庭・園庭の芝生化、ビオトープや花壇、樹木による植栽など、子どもたちが多くの時間を過ごす場所で、施設ごとのニーズに合わせた多様な緑を創出



横浜みどり税は横浜みどりアップ計画[2019-2023]事業費の一部に使われています。記載されている額は事業費の総額ではありません。

令和4年度横浜みどり税の使い道について

*横浜市みどり基金について

緑の保全及び創造に資する事業の充実を図るために設置された基金で、横浜みどり税の税込相当額を積み立て一般財源との分離を図ることで、税込の用途を明らかにするとともに、年度間の財源調整を行っています。

■横浜市みどり基金のしくみ

